

코리아NGOセンターの 20年の歩みとこれから

代表理事 郭辰雄

코리아NGOセンター 設立の時代認識と理念

- 「戦争の世紀」から「平和・人権の世紀」へ
- 在日コリアン社会の世代交代、多様化と、多民族多文化な社会へと進む日本
- 自立した市民による市民社会の発展

「人権」「平和」「共生」

「自立した市民」

境界から共生へ

코리아NGOセンターが 取り組んできた主な課題

子どもたちの笑顔のために

2008年 大阪市、制度改編「**大阪市国際理解教育推進事業**」を開始

2011年 韓国政府在外同胞教育支援「**民族学級支援費**」を予算化

2021年 中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育の構築を目指して」

「子供たちのアイデンティティの確立を支え、自己肯定感を育むとともに、家族関係の形成に資するよう、これまで以上に母語、母文化の学びに対する支援に取り組むことも必要である」

2023年 こども基本法施行

「全てのこどもについて、個人として尊重され、その基本的人権が保障されるとともに、差別的取り扱いを受けないようにすること」



外国人の人権保障のために

【コリアNGOセンターが参加しているネットワーク】

外国人人権法連絡会／移住者と連帯する全国ネットワーク／RINK（すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク／人種差別撤廃NGOネットワーク、他

在日コリアンの当事者団体として、政策提言、ネットワーキング、課題解決、法律生活相談などにとりくんできた。





無料法律相談 무료법률상담

法律や税金、その他日常のトラブルでお悩みではありませんか？
当センターは、そんなみなさんの悩みやトラブルの解決のためにサポートいたします。
相談内容によっては、各分野の専門家（弁護士、司法書士、行政書士、税理士、他）を紹介いたします。秘密は厳守いたしますので、まずはお気軽にお電話下さい。

無料で相談できます
スタッフによる電話・対面相談を無料にておこなっています。
※ 原則、対面相談は30分以内1回限りです。
※ 相談内容に応じて弁護士や税理士など専門家に依頼することができますが、その場合は有料相談となる場合があります。

スタッフがトラブルに応じた専門相談員を紹介します
弁護士や司法書士、行政書士、税理士や弁理士...世の中に資格はたくさんあります。問題の種類によって、スタッフが内容を伺った上で、適切な専門相談員を紹介します。

コリアンのあらゆる問題に精通しています
専門相談員は同じ在日コリアンの有資格者で構成されていますので、在日コリアンのさまざまな問題に精通しています。また婚姻・離婚・相続などに関連して、韓国法、共和国法での相談も可能です。もちろん韓国語での相談も可能です。



**受付時間：月・水・金曜日
午前10時～午後4時**

**ご相談は
お気軽にどうぞ！**



(特活)コリアNGOセンター ☎ 06-6711-7603
〒544-0034 大阪市生野区桃谷3-1-21-3F E-mail : center@korea-ngo.org
<http://korea-ngo.org>

ヘイトスピーチの根絶に向けて

- 2010年 京都東九条でのヘイト街宣にカウンターとして協力
- 2013年 鶴橋でのカウンターを呼びかけ、以降継続して対応
- 2014年 反ヘイトスピーチ裁判を支援する会に事務局として参加
- 2015年 大阪市へのヘイト対策条例を求める要望、ヒアリング
- 2016年 大阪市条例、ヘイトスピーチ解消法施行
鶴橋での禁止の仮処分

「ヘイト」ビラ禁止仮処分
生野のNPO事務所周辺
大阪地裁決定

大阪市生野区の二つのNPO法人が、民族差別を助長するヘイトスピーチ（憎悪表現）の禁止を求めた仮処分で、大阪地裁（北川清裁判長）は24日、大阪府内の男性（48）に対し、在日韓国・朝鮮人が多く暮らすNPO事務所の半径600メートル以内でビラまきなどを禁じる決定を出した。

仮処分を申し立てたのは、「コリアNGOセンター」と、デイサービスの事業者「ばた」。いずれもJR鶴橋駅付近に事務所がある。申立書によると、男性はインターネット上で、今月29日に同駅周辺での「防犯パトロール」実施を告知。昨年12月にも予告した上で差別的な言葉を含んだビラを住宅に投函したといい、NPO側は「同様にビラを配る可能性が高く、平穩に事業を行う権利が侵害される」と主張していた。

北川裁判長は決定で、男性が禁止対象となった区域内で自身の所属団体名を名乗ることも禁じた。センターの郭辰雄代表理事は「ヘイトスピーチをなくす一歩になってほしい」と語った。男性は2016年12月にもセンター周辺でのデモを禁じる仮処分命令を地裁に受けており、取材に「表現の自由があるのに主張を禁じられて不当だと話した。」



多文化共生社会に向けた社会教育

【総実施件数】 4,195件
 【総参加者数】 266,612人

毎日新聞 2017年(平成29年)9月9日(土)

未来を見るめ

教育改革 現場からの報告



大阪市生野区の御幸通商店街(通称・生野コリアタウン)は、韓国、朝鮮籍を持つ在日コリアンが密集して住む地域として知られる。この地を拠点に在日コリアンの人権擁護や国際交流に取り組む「コリアNGOセンター」は2004年の設立時から、全国各地の児童・生徒の異文化体験や、教職員向けの人権教育研修を目的としたワークショップを実施。開始以来の参加者はこれまでに10万人を超えた。多文化共生に向けた取り組みを通った。【北村弘一】

大阪・生野「コリアNGOセンター」



コリアNGOセンター 郭辰雄代表理事



生野コリアタウンを運営した主体の中心として、多文化共生の推進に努める郭代表理事。

大阪府教委が推した活動があるが、07、08年と、同様の世帯の増加が顕著。その結果、近年、多文化共生の推進が急務となった。郭代表理事は、在日コリアンや韓国人の増加に伴って、差別を許さない環境づくりを推進している。

出会って接して 少数者知って

また15年に「異文化理解活動」が実施された。その目的は、在日コリアンや韓国人の増加に伴って、差別を許さない環境づくりを推進している。また15年に「異文化理解活動」が実施された。その目的は、在日コリアンや韓国人の増加に伴って、差別を許さない環境づくりを推進している。

多文化共生 通算10万人学ぶ

生野コリアタウンを運営するワークショップが、今年で10周年を迎える。この日は、日韓両国から参加した小学生や中学生、高校生、大学生、社会人など、約100人が参加した。ワークショップは、在日コリアンや韓国人の増加に伴って、差別を許さない環境づくりを推進している。また15年に「異文化理解活動」が実施された。その目的は、在日コリアンや韓国人の増加に伴って、差別を許さない環境づくりを推進している。

ワークショップ キムチづくりから歴史まで

生野コリアタウンを運営するワークショップが、今年で10周年を迎える。この日は、日韓両国から参加した小学生や中学生、高校生、大学生、社会人など、約100人が参加した。ワークショップは、在日コリアンや韓国人の増加に伴って、差別を許さない環境づくりを推進している。また15年に「異文化理解活動」が実施された。その目的は、在日コリアンや韓国人の増加に伴って、差別を許さない環境づくりを推進している。

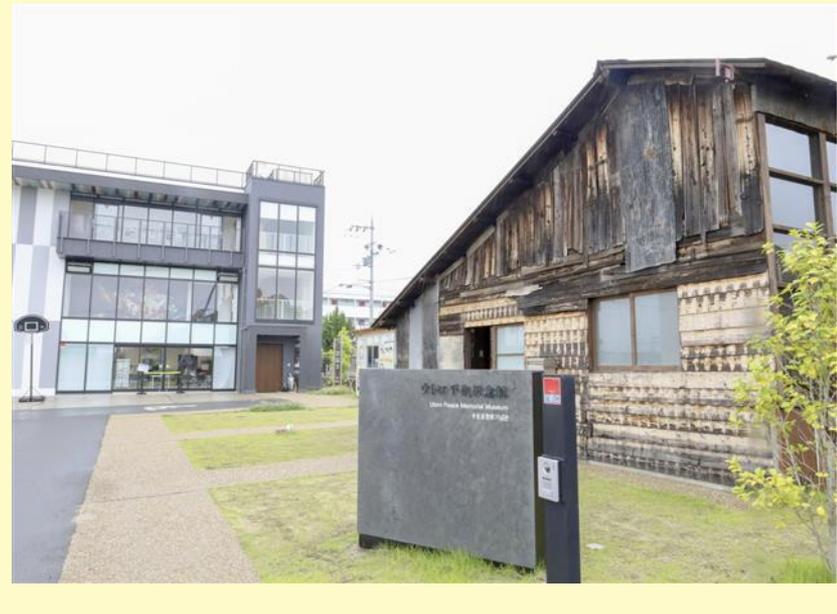
コリアタウンフィールドワーク

年度	件数	参加人数
2005	172	8,425
2006	143	6,587
2007	181	8,391
2008	150	8,150
2009	155	7,951
2010	131	7,672
2011	132	8,490
2012	165	9,550
2013	163	8,358
2014	169	8,682
2015	173	8,920
2016	180	10,132
2017	200	11,026
2018	191	10,916
2019	152	8,334
2020	10	717
2021	42	2,112
2022	129	8,114
2023	207	11,477
2024	200	11,000
合計	3,045	165,004

【団体などへの講師派遣 ※】

年度	件数	参加人数
2009	88	4,745
2010	76	5,116
2011	55	4,055
2012	60	4,485
2013	60	4,990
2014	86	6,152
2015	94	8,209
2016	105	10,296
2017	102	10,276
2018	115	10,648
2019	68	7,344
2020	68	7,300
2021	59	6,124
2022	39	3,507
2023	35	4,361
2024	40	4,000
合計	1,150	101,608

※ 2024年度は2024年8月15日現在での見込み
 ※ 2005年から2008年までの講師派遣はフィールドワークを含む



朝鮮半島・東アジアの平和共存に向けたオピニオン

- 2010.11 北朝鮮による延坪島砲撃事件に対する声明
- 2011.12 大阪府議会による朝鮮学校補助金大幅減額決定に反対し、再考を求める声明
- 2012.04 北朝鮮による飛翔体発射についての談話
- 2012.12 第18代韓国大統領選挙に対する『在日同胞政策に対する要望書』
- 2013.10 読賣テレビ番組での在日コリアンに対する差別助長・偏向発言に関する抗議文
- 2015.08 朝鮮半島での軍事衝突回避を南北両政府に求める緊急声明
- 2016.05 ヘイトスピーチ解消法成立にあたっての声明
- 2017.09 朝鮮民主主義人民共和国の核実験に抗議し、朝鮮半島の軍事緊張緩和を求める声明
- 2018.02 朝鮮総聯中央本部への銃撃事件に対し、日本政府に厳正な対応を求める声明
- 2018.03 朝鮮半島の平和構築に向けて南北首脳会談、朝米首脳会談の開催を支持する声明
- 2018.06 朝米首脳会談に関する声明
- 2019.09 声明文「韓日関係の改善と発展を求めて ～過去をのりこえ、未来を拓くために～」
- 2021.05 入管法改定案の廃止を求める声明
- 2021.12 声明 ヘイトクライムのない社会を
- 2023.09 関東大震災朝鮮人虐殺100年周年を迎え、歴史に誠実に向き合うことを求めるコメント
- 2024.06 朝鮮民主主義人民共和国の平和統一理念の放棄に反対し、戦争回避と平和実現に向けた対話を求める声明
- 2024.10 朝鮮半島の軍事緊張を高める南北両政府への自制と緊張緩和のための対話を求める声明

코리아NGOセンターの これからの展望

私たちをとりまく情勢の展望

(1) 人権を取り巻く状況

- 人権をめぐる対立と葛藤、その一方で多様なマイノリティの人権保障のための制度、仕組みが整備
- 少子高齢化と外国人の増加、生活の現場での外国人の人権課題への関心の広がり
- 人権問題への正しい理解のための人権教育、ネット、メディアなどでの発信、ファクトチェックの重要性

(2) 在日コリアンを取り巻く状況

- 在日コリアンをどうとらえるか。
在日コリアンとしてのアイデンティティ、生き方の多様化
- いまだに続くヘイトスピーチ・ヘイトクライム被害
日本社会の排外主義との対峙関係
- 日本における多文化共生社会の実現のための在日コリアンの役割の重要性
とりわけ外国人の任用制限撤廃、社会参画の実現
- 日韓関係の発展、日本と朝鮮半島の関係発展のための架橋の役割の重要性

(3) 朝鮮半島・東アジアを取り巻く状況

- 世界的な「戦争の時代」を生きるということ

武力による争いにとどまらない、国家によって強要される分断と対立の時代

- 高まる朝鮮半島の緊張にどう向き合うか

基本姿勢として、朝鮮半島での武力衝突はあってはならない、在日コリアンを分断してはならない。

- 日本、韓国の平和を希求する人々との連帯

コリアNGOセンターのこれからの展望

人権擁護と社会教育事業を効率的に進める組織



人権擁護活動

【社会活動】

社会教育事業

【ソーシャルビジネス】

反差別
人権擁護法制実現

政策提言
オピニオン(日韓)

法律・生活相談

コリアNGOセンター

理事会

事務局

評議員

会員・賛助会員

コリアタウンFW
体験プログラム

講師派遣事業

情報(コンテンツ)
発信

ウトロ平和祈念館

いくのコーライブズパーク

コリアタウン歴史資料館

これからも皆さまとともに

20周年を迎えたコリアNGOセンターを
これからもよろしく願いいたします